

2025 アメリカ・ポートランド 教師アシスタントインターンシップ プログラム

ポートランドには、英語を第一言語とする生徒に、日本語で日本語を教える『イメージ教育』に力を入れている小中高があります。インターン生は教師アシスタントとして教室に入り、授業やイベントのサポートを行い、生徒の成長を支えます。



ポートランド・アメリカ教師インターンシップ概要

ポートランドには、英語を第一言語とする生徒に、日本語で日本語を教える『イマージョン教育』に力を入れている小中高があります。インターン生は教師アシスタントとして教室に入り、授業やイベントのサポートを行い、生徒の成長を支えます。

イマージョン教育とは：第二言語習得のために、第一言語を介さず、習得したい言語を使用して学習を行う教育メソッド

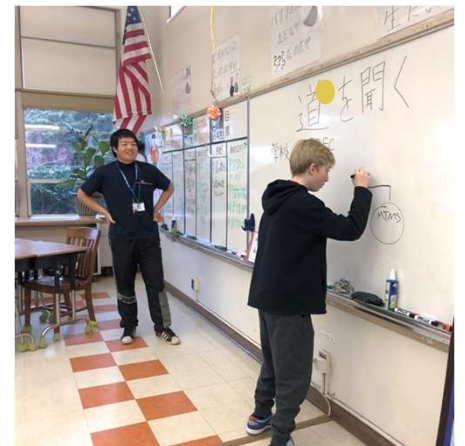
期間	開始：3月末 ※学生・新卒の方は開始月より12カ月間の参加※社会人の方は開始月より最大18カ月間の参加が可能
給与	無給インターン
待遇	ホームステイ（3食付き）・定期的な英語レッスン・公共交通機関のフリーパス等提供
ビザ	J1ビザ

こんな人におすすめ！

- 日本の言葉や文化を海外で発信したい方
- 将来、教員や日本語教師を目指している方
- 現在教育分野で働いていて、海外の教育にも興味がある方
- 英語力を伸ばしたい方
- アメリカに安く長期間滞在したい方
- ローカルな生活を通じた異文化体験がしたい方

このプログラムを通してできること

- 長期の実務経験を通して、教員として経験値を上げる
- 海外の言語教育メソッドを学ぶ
- 異文化理解力や英語力の向上
- 課題を乗り越え成長を実感できる経験



参加条件

年齢が出発時点で20歳以上35歳以下

CEFRでB1以上の英語スコア証明を提出できる

英語テスト別指標：TOEIC L&R 550以上（各275点以上）、英検2級以上（英検総合スコア1980点以上）、IELTS4.0以上、TOEFL IBT42以上、TOEIC S&W240点以上（各120点以上）

学生あるいは新卒の方	短大卒以上で教育関連の学歴がある社会人の方	高卒・専門卒あるいは、教育関連の学歴がない社会人の方
大学一年次を修了している	フルタイムまたはパートタイムでの指導・教授経験が1年以上必要	フルタイムまたはパートタイムでの指導・教授経験が5年以上必要
※一部専攻によってはビザの申請条件を満たせない可能性があるため、事前に無料査定を実施しております	※教育関連の学歴とは：大学、短大、大学院での専攻が教育関連（教育学部・教職課程選択）だった、または教育に関わる科目を3科目以上履修していた方	

派遣校の特徴

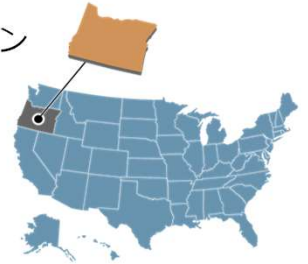
- ・小中高の案内が可能
- ・現地の支援団体（Oya No Kai)のサポートが手厚い
- ・支援団体主催のイベントやアクティビティーが豊富
- ・全校生徒700名程度の大規模校
- ・日本語担任教師がインターン生のメンターとしてつく
- ・毎年18名程度募集
- ・はじめての海外生活・教育分野でのお仕事という方でも安心



	リッチモンド小学校 RICHMOND ELEMENTARY SCHOOL	マウントテーバー中学校 MT. TABOR MIDDLE SCHOOL	グラント高校 GRANT HIGH SCHOOL
学年	年長児から小学5年生	6年生～8年生（12～14歳）	9年生～12年生（15-18歳）
日本語使用率	50%	30%	30%
英語使用率	50%	70%	70%
教授法	日本語を教えるのではなく、 一般クラスを日本語を使用 して教えるスタイル	中高は教科の難易度増加に伴い 日本語学習は独立したクラスで行われる	

ポートランドの特徴

- ・アメリカ国内最も住みやすい都市ランキング上位10位以内に2年連続ランクイン
- ・全米で最もおいしいレストランが集まる都市
- ・コーヒーの聖地！街中にカフェがある
- ・全米で最も環境にやさしい街
- ・自然と都市の調和がとれた街。10分車を走らせると大自然が広がる
- ・公共交通機関が発達・車なしで生活可能
- ・消費税がない州
- ・街全体が日本語イマージョン教育に理解があり、親日家が多い



インターン生の活動内容

小学校勤務インターン生スケジュール例

	平日	休日
6:00 AM	起床	
7:00 AM	出勤	
7:45 AM	勤務開始	
10:00 AM	インターン業務	起床
12:00 PM		
2:15 PM	児童下校	家族・友人と外出
2:30 PM	先生のお手伝い業務等	
5:30 PM	退勤	
6:00 PM	自由時間	
6:30 PM	夕食	
7:00 PM	自由時間	
10:00 PM	就寝	

業務内容

作成業務

- ・クラスに掲示するポスター
- ・授業で配るハンドアウト
- ・授業で使用するスライド

生徒サポート業務

- ・授業観察
- ・生徒の学習支援
- ・生徒への注意やしつけ
- ・日本語で会話のデモンストレーション

レーション

- ・質問や相談への応答
- ・登下校時の児童の安全管理
- ・授業進行のサポート

採点業務

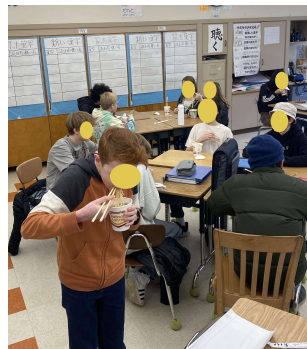
- ・テストや宿題の採点

イベント運営サポート

- ・学校行事の運営アシスト業務

教壇に立つ機会

- ・レッスンプランを1から考え、実行する



学校行事の例

- ・サマーキャンプ
- ・Assembly -学年集会でアクティビティを行ったり表彰を行ったりする
- ・Kickball -年度始め(9月)に先生対各学年で放課後にkickballをする
- ・Back to School Night -放課後に保護者と共に学校へ戻ってきて教室を見学する
- ・Halloween Dance -ダンスパーティでミニゲームコーナーなど生徒が企画する
- ・Harvest festival - コスチュームを着てブースを開き、子どもたちと楽しむ
- ・ニューイヤーズイベント
- ・春祭り

インターン生の役割 = "生徒と先生の掛け橋"

先生から学べること

- ・教師の情熱や指導の意図を感じ取ることができる
- ・教授法やクラスマネージメントスキルを学ぶことができる

生徒から学べること

- ・生徒と密接に関わることでできる
- ・生徒が授業や先生に対して感じていること、日常生活における不安や楽しさを知ることができる



インターン生は、生徒ではありませんが、担任講師とも異なる立ち位置でクラス運営に関わっていくこととなります。双方の中間地点に立って、教育現場を観察することができるため、双方に近い存在として、生徒の気持ちにも教師の気持ちにも寄り添ったサポートが可能です。その経験は将来教育者を目指す人にとってかけがえないものとなるでしょう。

現地サポーター（親の会）からのメッセージ

アメリカ・ポートランド
親の会



はるかさん



1989年にポートランド市公立学校の生徒達をサポートするために結成された保護者がボランティアで運営する非営利団体（=Oya No Kai）のはるかさんからインターン参加希望者へのメッセージです。

“Oya No Kai がインターン生の生活を支えます！”

“オレゴン州ポートランドでのインターンシッププログラムへ興味を持っていただいております！親の会でインターンコーディネーターをしています、高沼はるかです。

このプログラムでは、公立校で日本語イマージョンプログラムによって日本語を学んでいる小中高校でのインターンシップを行います。小中高いずれかの学校で日本語クラスのアシスタントとして「先生」となり、クラス内での子供達のサポートやメンターの日本語教員の方のアシスタントをするのがインターンシップ内容です。また、生徒のご家族の家でホームステイで生活することにより、よりコミュニティーとの関わりを持っていただくことが出来ます。過去のホストファミリーの皆さんには、一生継続く関係を築くことが出来た、と云ってくださるご家庭もたくさんあります。

現地のポートランドでは、親の会というプログラムサポートの非営利団体、日本人のインターンコーディネーター、コミュニティー内のご家族の皆さまからの手厚いサポートが約束されています。日常生活の小さなことから、アメリカならではの季節ごとのイベントへの参加、学校でのインターンシップの業務に関してまで、しっかりサポートさせていただきます。いつでも日本語での対応が可能ですし、どんな小さなことでも気軽に相談していただけます！

教育の場でも、そして人生の中での経験としても、必ず何か自分の糧になる経験をお約束できるプログラムになっています。ぜひ、インターンシッププログラムへ参加してくださいね！ポートランドでお待ちしています。

元インターン生からのメッセージ

“多角的な視点で捉える言語教育”

「言語を教える」ことに対しての様々なアプローチを学び、異文化の特徴に寄り添った指導法を学び、生徒の成長を身近に感じるだけでなくこれからの自分のための大きな成長にもつながりました。現在、実際に教員をしてもここでの経験があったからこそその指導法や生徒とのかかわり方を実践し、一先生としても一人間としても大きくなれたと思っています。

宮崎さん（中学校派遣）



“行動力と自分の意志を伝える力”

行動力と自分の意思や意見を伝える力がついたことに成長を感じます。限られた期間の中で、インターン業務及びプライベートともに少しでも自分にとって有意義で充実した時間と経験が得られるよう、自ら行動することを心がけています。例えば、クラスでやってみたいことをメンターの先生に提案してインストラクションを行うチャンスを得たり、自由時間を充実させるためにホストファザーにギターを教えてもらうようお願いしたり、言語交換に挑戦したりなど、自ら行動を起こしたことにより更なる経験が得られたことが、自信へと繋がっています。

山岸さん（小学校派遣）



インターンシッププログラム参加の流れ

出発の…

12カ月前

無料査定、カウンセリング実施

学歴・職歴などから、参加条件を満たしているかをチェックします。必要に応じ、英語スコア証明書、英文成績書、履歴書、職務経歴書の提出をお願いしております。また派遣先の空き状況の確認を致します。

11カ月前

事前選考書類の提出、事前選考費用5,500円のお支払い（※請求書発行から3日以内入金）、事前選考の実施

事前選考書類：事前選考申込書・顔写真付き日本語エッセイ（自己紹介とプログラムへの参加理由について・A4サイズ1~2枚程度）・事前課題フォーム・事前面接（英語&日本語）

10カ月前

お申込み ※プログラム費用のお支払い

事前選考を経て合格となりましたら、お申込みいただきます。

※お申込後の研修参加者の個人的都合によるキャンセル・返金には、一切応じられません。

8カ月前

DS2019必要書類提出 ※DS2019申請費のお支払い

J-1ビザの申請にDS2019が必要です。アメリカ国務省から認定を受けたビザスポンサー団体より発行されるDS2019の申請を行います。

5カ月前

DS2019申請・取得

提出書類を元に、研修プラン等DS2019申請作成をNPO団体と進めていきます。書類完成後申請書類へご署名いただき、当社へご返送いただきます。

3カ月前

J-1ビザ申請開始、大使館面接

DS2019が発行されましたら、アメリカ大使館面接の予約をします。日本国内の米国大使館に出頭し、面接を受けます。事前に大使館面接のためのオリエンテーションを行い、準備万端で面接を受けていただきます。

3カ月前

J-1ビザ取得・航空券手配

大使館面接から1週間程度でビザが貼付されたパスポートが返却されます。航空券や海外旅行保険を手配して、研修開始日に間に合うよう渡航に備えましょう。

1カ月前

渡航前オリエンテーション実施

必要な持ち物、参加にあたって必要な心構え、渡航後のスケジュール、入国審査時に気を付けるべき点等お伝え致します。

インターン開始
3月末

インターン開始

現地運営スタッフによるオリエンテーションを受けて、スムーズに生活を開始していただけます。その後インターンシップ開始となります。

インターンシッププログラム料金

事前選考費用(税込み)
5,500円
プログラム料金(税込み)
325,000円

プログラム料金に含まれているもの

- ・DS2019申請書類作成や申請手続きサポート
- ・米国大使館J1ビザ申請手続き、申請書類作成サポート
- ・米国大使館J1ビザ申請面接対策と準備、事前練習
- ・J1ビザ期間中の緊急時対応、サポート
- ・米国大使館ビザ申請費用、面接後のパスポート配達費用
- ・フライト予約、海外旅行保険加入など渡航手配サポート

プログラム料金に含まれないもの

- ・ビザスポンサー団体のDS2019申請費用（1年間：\$ 2,300、18カ月間：\$ 2,900）、航空券代金、海外旅行保険代金

料金概算表

\$=140円の場合

渡航前経費	12カ月間
プログラム費用+事前選考費用	330,500円
ビザスポンサー申請費用	322,000円
片道航空券代（※目安）	150,000円
海外旅行保険費用（※任意）	199,870円
合計	1,002,370円

★ホームステイと3食、市内公共交通機関のフリーパス、定期的な英語レッスン**無償提供**のプログラム！

※その他かかる費用：嗜好品代・現地での旅行費用等

ホストファミリー
との様子



授業
の様子



株式会社キャリアエキスチェンジ

〒100-6611 東京都千代田区丸の内1-9-2

グラントウキョウサウスタワー11階

URL: www.career-ex.com E-mail: info@career-ex.com



よくあるご質問

英語力に関する質問

Q.英語力に自信がありませんが、申し込みはできますか？

A.申込みに英語スコア等の提出は不要です。英語レベルチェックテストにて英語力を確認させていただき、フィードバックを行っています。

Q.活動にはどれくらいの英語力が必要ですか？

A.インターン生は日本語で授業を行うため、高い英語力は必要ありません。活動を通して英語力の向上を目指していただけます。

応募資格に関する質問

Q.教員経験がありませんが、業務をこなせますか？

A.メイン教師がメンターとしてみなさんの活動を支援させていただきますので、未経験でも安心して活動いただけます。

※社会人の場合、ビザの申請要件上、教授経験が必要です

Q.日本語教師の資格や教員の資格はあった方が有利ですか？

A.資格がなくても、未経験でも、ビザの要件を満たしておりましたら参加いただけます。資格よりも、参加者のモチベーションを重視しております！

Q.社会人でも参加できますか？

A.社会人でも参加可能です！J1ビザの申請要件を満たしておりましたら、20歳以上～35歳以下の方に参加頂けます。J1ビザの要件を満たしているかは事前に無料査定を実施致します。

費用に関する質問

Q.参加にはどのくらいの費用がかかりますか？

A.前ページ料金概算表をご参照ください。

Q.現地の生活費はどの程度がかかりますか？

A.滞在先、1日3食、市内公共交通機関のフリーパスは無償提供ですので、普段の出費はほとんどないというインターン生が多いです。日頃の出費はほとんどなく、旅行等で一度に大きな額を使われるケースが一般的です。

休日に関する質問

Q.休日はどのように過ごしますか？

A.ホストファミリーと出かけるインターン生が多いです。スキーや、ハイキングに出かける方や、お子様のクラブ活動に同行したり、他のインターン生と遊んだり、あるいは一人でのんびり過ごされたりする方もいらっしゃいます。

Q.長期休暇はどのように過ごしていますか？

A.決まりはありませんが、力試しに米国内の一人旅にチャレンジされるインターン生が多いです！派遣校によってはサマーキャンプを実施しており、お手伝いとして参加いただけます！

食事に関する質問

Q.ホームステイ先の食事はどのようなものですか？

家庭によって全く異なりますが、以下に一例をご紹介します。

朝食：冷蔵庫にあるものを各自食べる

昼食：前日の残りを詰めたり、サンドイッチを自分で作り学校で食べる

夕食：夜は家族でしっかりとした食事

インターン生活動レポート：Kさん・小学校派遣

自身の業務内容、学校での役割について教えてください

渡航三か月後レポート：

授業中は、日本語の先生とチームティーチングをしています。先生と分担し、全員のワークシートの取り組みを見て一緒に読み方を確認したり、子どもたちが行っている活動のサポートをしたりしています。中休み、ランチの時間には、子どもたちの安全のため、監督しています。放課後には、各教室の先生のお手伝いとして、宿題の丸付けをしたり、授業に必要なものを作成したりしています。

プログラム終了時レポート：

以前よりも先生方に頼っていただけるようになり、先生が不在の際には代わりに授業を行ったり、授業中に先生と分担して子供を見たりするようになりました。また、自分のできる仕事が増えてきたことや、子供たちとの関係も深まってきたことによって、もっとこの子どもたちと一緒に過ごしたい、一緒に勉強したいという思いが出てきました。

ご自身が成長したと思う点や活動を通して感じる変化について

渡航三か月後レポート：

中学の英語教員を目指していたため、これまでに、低学年と交流する機会がほとんどなく、どのように関わっていけばよいか、どのような声掛けが適切か全くわからない状態で小学校勤務が始まりました。日々、先生の子どもたちとの接し方や些細な声掛けを観察し、自分に取り込むことで徐々に自信をもって子どもたちと関わるできるようになりました。学期はじめは、日本の教育スタイルの違いや子どもたちの性格の違いに戸惑うこともありましたが、自分の当たり前は通用しないということを教わり、様々なことを受け入れられるようになりました。

プログラム終了時レポート：

日本とアメリカの教育の違い、子供たちの個性にはじめは戸惑いながらも、生活に順応していく中で、大きな価値観の変化が生まれました。先生に任せっきりだったことも自ら進んで行えるようになり、先生に頼られるようになったのも成長のひとつだと思います。もともと中学教員を目指していましたが、日本帰国後はイマージョン教育を実践する小学校で勤務したいと考えています。自分の専門外の学年であるため、知識や技術は充分でなく、これから改めて勉強していこうと思います。数年のキャリアを積んだ後は、アメリカの大学院で教育を学びたいです。

英語使用頻度や英語力の成長について

渡航三か月後レポート：

渡航の3カ月前：TOEIC換算720点

学校では、先生とは日本語で、子どもたちとは英語で話すことがほとんどです。低学年の子は、日本語ネイティブの子どもたちを除き日本語でのコミュニケーションはほぼできません。日本語の授業におけるルーティンは日本語で行われますが、活動の説明や、子どもと先生の個人的な会話は英語で行われていることが多いです。家では基本的に英語を話しています。

プログラム終了時レポート：

家ではほぼ英語で話していたので、ファミリーが使っている言葉をよく使うようになりました。学校では日本語を使う機会も多くありましたが、やはり低学年は英語は必要であること、英語のクラスの先生とコミュニケーションをとるときがあったことで、英語を話す機会もあり、練習になりました。

インターン生活動レポート：Yさん・小学校派遣

自身が実施した授業について教えてください

トピック：現在のこの話し方「～をしています」



イラストを使い、人物について、現在していること「～をしています。」や服装など「～を着ています。」という表現を使って説明できることや、説明を聞いて適当な人物を見つけることができることを目指した授業を実施しました